

キャリア相談支援レポート

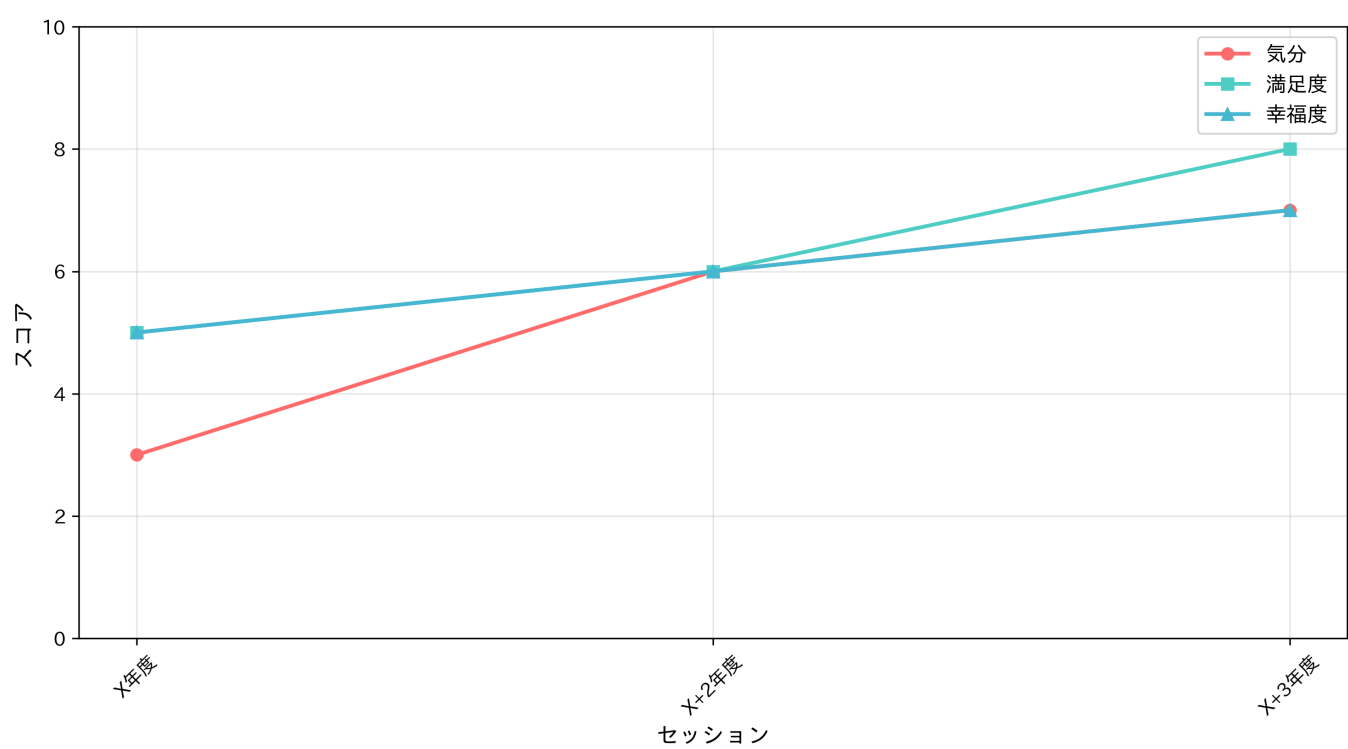
概要

本レポートは、Aさん（場面緘黙症の診断を受けた高校生）に対する4年間のキャリア相談支援の経過と成果をまとめたものです。支援期間中、Aさんは対人関係の構築、問題解決スキルの習得、就職活動の成功など、着実な成長を遂げました。

アセスメント推移

心理的指標の変化

気分・満足度・幸福度の推移



上記グラフは、各セッションでのAさんの心理的指標（気分、満足度、幸福度）の推移を示しています。

第1回面談（X年度）

- 気分：3/10
- 満足度：5/10
- 幸福度：5/10

第2回面談（X+2年度）

- 気分：6/10
- 満足度：6/10
- 幸福度：6/10

第3回面談（X+3年度）

- 気分：7/10
- 満足度：8/10
- 幸福度：7/10

分析

- **気分の改善**：3点から7点へと大幅な改善が見られ、特に第2回面談以降の安定した向上が特徴的です
- **満足度の向上**：5点から8点へと着実に向上し、最終的に最も高い評価を獲得しています
- **幸福度の改善**：5点から7点へと緩やかながら確実な向上を示しています

支援経過の詳細

第I期（X年度～X+1年度）：継続的な登校を目標とした支援

主な課題

- 体調不良を理由とした無断欠席・遅刻の頻発
- 電話連絡の困難
- 時間管理の不得手
- 希死念慮の訴え
- 対人関係での困難

支援内容

1. 電話連絡スキルの習得

- 電話連絡の台本作成
- 内線電話を使ったりハーサル実施
- 担任と養護教諭による継続的な支援

2. 時間管理スキルの向上

- 1日のタイムスケジュール作成支援
- スマートフォンのアラーム機能活用練習
- 現実的なスケジュール設定の指導

3. 心理的支援

- 養護教諭による個別面接
- 感情の言語化支援
- 希死念慮への適切な対応

4. 医療機関との連携

- 思春期デイケアでのSST参加
- 「場面緘黙」の確定診断
- 月2回の継続的な受診

成果

- 事前電話連絡ができるようになった

- 欠課時数超過を回避
- 適切な感情表現の増加
- 校内外での人間関係の積極性向上

第II期（X+2年度）：対人関係の拡大と行動化への対応

主な変化

- **積極的な活動の開始**
 - クラスメートとのカラオケ参加
 - 飲食店でのアルバイト開始
 - バレー部への入部
 - 恋愛関係の構築

新たな課題

- 対人関係での「うまい関わり」の困難
- ストレスによる行動化
- 授業中の問題行動
- アルバイト先でのトラブル

支援内容

1. 問題解決スキルの習得

- 感情の言語化支援
- 対処方法の検討
- ロールプレイによる練習

2. ストレス管理の指導

- 深呼吸による気持ちの落ち着け方
- 適切な感情表現の練習
- ストレス発散方法の習得

3. 謝罪スキルの習得

- 個別SSTによる謝り方の練習
- アルバイト先への適切な謝罪実施

成果

- **欠席日数の大幅な減少**
 - X年度：35日
 - X+1年度：54日
 - X+2年度：9日
- 高校生らしい対人関係の構築
- 問題解決スキルの獲得
- 登校の安定化

第Ⅲ期（X+3年度）：就職活動と将来設計

主な活動

- ・ **積極的な就職活動**
 - 夏休み中に7社の見学（全校最多）
 - 製造業での1社目不採用
 - 物流業での2社目内定獲得

支援体制の構築

1. 発達障害者支援センターとの連携

- 就職活動のバックアップ
- 面接練習の実施
- 卒業後の継続支援体制

2. 医療機関との継続連携

- 場面緘黙についての説明
- 自己理解の促進
- 障害受容の支援

3. 手帳取得の支援

- 精神障害者保健福祉手帳の申請
- 診断書の取得
- 自治体窓口への申請同行

成果

- ・ **就職内定の獲得**：物流業での就職決定
- ・ **自己理解の進展**：障害受容と手帳取得への理解
- ・ **支援体制の確立**：卒業後の継続支援体制の整備
- ・ **4年次への無事な進級**

総合的な成果と評価

量的成果

- ・ **登校の安定化**：年間欠席日数を54日から9日へ大幅改善
- ・ **対人関係の拡大**：友達、アルバイト先、恋人との関係構築
- ・ **就職活動の成功**：物流業での内定獲得
- ・ **心理的指標の向上**：気分3→7、満足度5→8、幸福度5→7

質的成果

1. ソーシャルスキルの習得

- 電話連絡スキル
- 時間管理スキル

- 問題解決スキル
- 謝罪スキル

2. 心理的成長

- 感情の言語化能力向上
- ストレス管理能力の習得
- 自己理解の進展
- 障害受容への理解

3. 社会的自立への準備

- 就労スキルの習得
- 支援体制の構築
- 卒業後の継続支援の確保

支援の特徴

1. 段階的なアプローチ

- 登校支援→対人関係支援→就職支援
- 各段階での課題に応じた適切な支援

2. 多機関連携

- 学校（担任・養護教諭）
- 医療機関
- 発達障害者支援センター
- アルバイト先

3. 継続的な支援体制

- 4年間にわたる一貫した支援
- 卒業後の継続支援の確保

今後の課題と展望

課題

1. 就労継続の不安

- ストレス場面での行動化リスク
- 場面緘黙によるコミュニケーション困難

2. 社会的孤立の防止

- 就職後の支援体制の活用
- 地域での支援ネットワークの構築

展望

1. 就労支援の継続

- 発達障害者支援センターとの連携活用
- 必要に応じた福祉就労への移行

2. 自立支援の推進

- 手帳を活用した支援の活用
- 地域での生活支援体制の構築

結論

Aさんに対する4年間のキャリア相談支援は、着実な成果を上げることができました。特に、心理的指標の改善、登校の安定化、就職内定の獲得は、支援の効果を明確に示しています。

今後は、就労継続支援と社会的自立の促進が重要な課題となりますが、構築された支援体制を活用することで、Aさんのさらなる成長と自立が期待できます。

レポート作成日：X+4年3月

作成者：キャリア相談担当者

データ期間：X年度～X+3年度